

2020年度市政モニター 第2回集計報告



町田市市政モニター
イメージキャラクター

もにっち

目次

第2回アンケート集計結果

- | | | |
|----------------------------|-----|----|
| 1. 町田市生涯学習センターについて | ・・・ | 4 |
| 2. 町田市ホームページ・SNSでの情報発信について | ・・・ | 14 |
| 3. ふるさと納税について | ・・・ | 27 |

実施期間 2020年12月23日（水）～ 2021年1月22日（金）

テーマ 1. 町田市生涯学習センターについて
2. 町田市ホームページ・SNSでの情報発信について
3. ふるさと納税について

アンケート対象 2020年度町田市市政モニター

対象者数 196 人

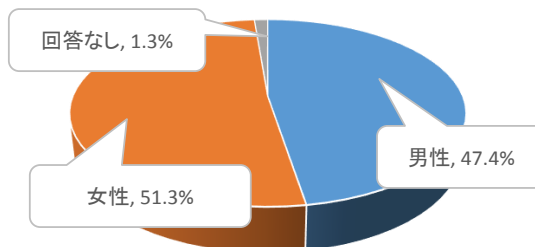
回答者数 154 人

回答率 78.6%

回答者の属性

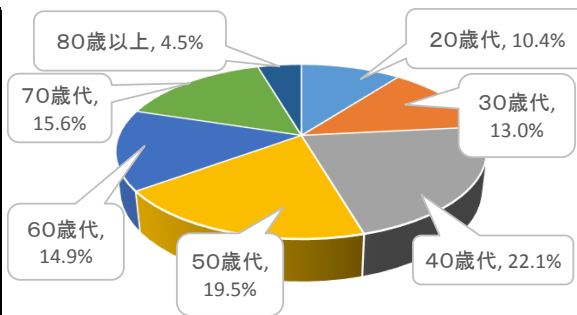
(1) 性別

	人数	割合
男性	73	47.4%
女性	79	51.3%
回答なし	2	1.3%
合計	154	-



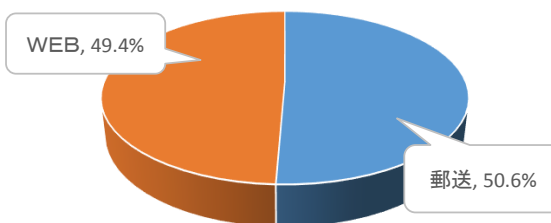
(2) 年代

	人数	割合
20歳代	16	10.4%
30歳代	20	13.0%
40歳代	34	22.1%
50歳代	30	19.5%
60歳代	23	14.9%
70歳代	24	15.6%
80歳以上	7	4.5%
合計	154	-



(3) 回答方法

	人数	割合
郵送	78	50.6%
WEB	76	49.4%
合計	154	-



※ 回答が択一または1つのみ選択の場合は「構成比」を、複数選択の場合は「回答比」を表示します。
 ※ 原則として自由記述部分は、ご本人の意を尊重し、文体・表現はそのままいたしました。
 ※ 割合の表示は、小数点以下2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

1. 町田市生涯学習センターについて

町田市教育委員会では、現在、「生涯学習センターのあり方及び効率的・効果的な管理運営手法」について検討を進めています。そこで、町田市生涯学習センターを利用していない方も含めて、町田市生涯学習センターの利用状況等の基礎資料とするため皆様のご意見をお聞かせください。

「市政モニターアンケート「町田市生涯学習センターについて」資料」をご覧ください、ご回答ください。

問1 あなたは町田市生涯学習センターを知っていますか。当てはまるものに○をつけてください。
(1つだけ選択してください)

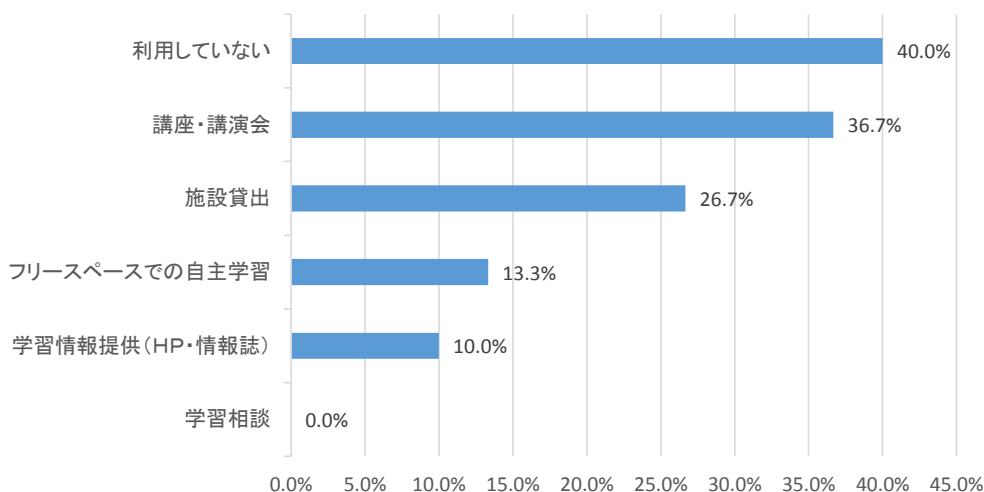


回答内容	回答数	構成比
知っており、利用したことがある	30	19.5%
知っているが、利用したことはない	58	37.7%
知らない	62	40.3%
無回答	4	2.6%



全体の40.3%の方が、「知らない」と回答しました。

問2 問1で「1. 知っており、利用したことがある」と答えた方にお聞きします。あなたはこの1年間、町田市生涯学習センターのサービスを利用しましたか。「市政モニターアンケート「町田市生涯学習センターについて」資料」の表面をご覧ください、当てはまるものに○をつけてください。
(複数選択可)



30名中12名が、「利用していない」と回答しました。

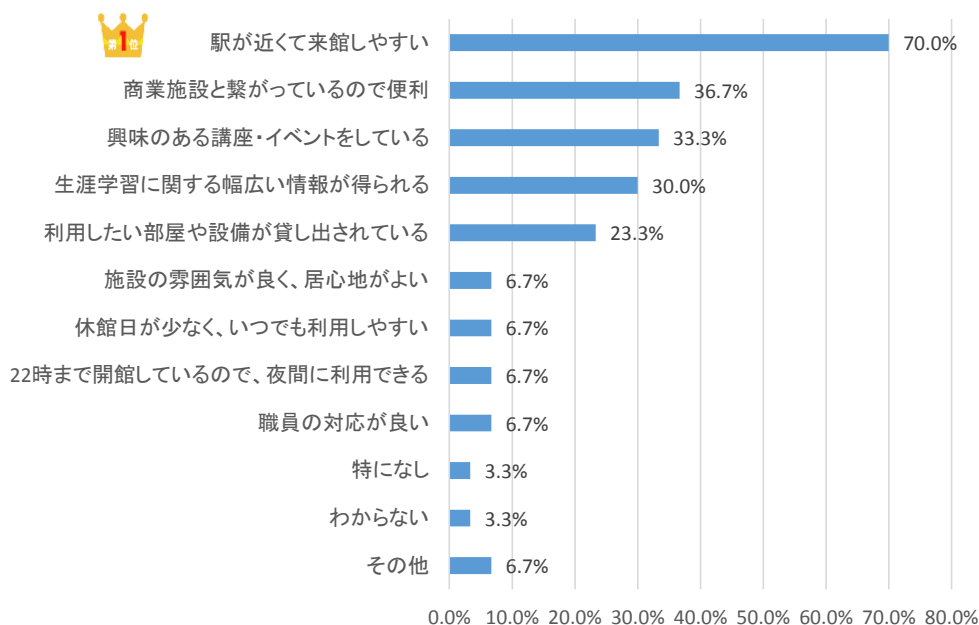
問3 問2にお答えいただいた方にお聞きします。町田市生涯学習センターを利用する頻度はどのくらいですか。当てはまるものに○をつけてください。
(1つだけ選択してください)

回答内容	回答数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%
1週間に数回程度	0	0.0%
1週間に1回程度	1	3.3%
月に数回程度	3	10.0%
月に1回程度	3	10.0%
年に数回程度	8	26.7%
年に1回程度	5	16.7%
数年に1回程度以下	10	33.3%



回答者の33.3%の方が、「数年に1回程度以下」と回答しました。

問4 問3にお答えいただいた方にお聞きします。町田市生涯学習センターの良いところはどこですか。当てはまるものに○をつけてください。
(複数選択可)



30名中21名が、「駅が近くて来館しやすい」と回答しました。

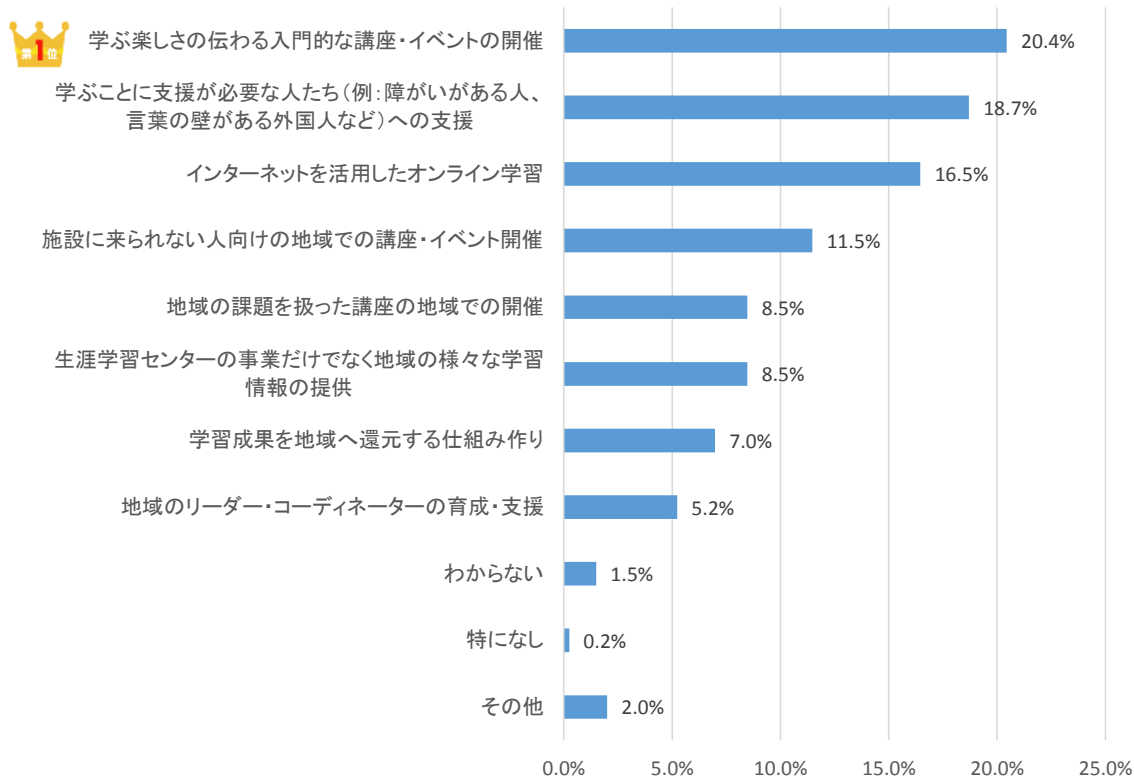
【その他のご意見】

気軽に市民だれでも利用できるのがよい

利用料が安い

フリースペース（昨年はコロナでなかなか使えなかった）で簡単な打ち合わせやなどが出来てよい。学生さんも気軽に利用している。市の施設にふさわしい。

問5 町田市生涯学習センターが今後、充実すべきと思うサービスは何ですか。当てはまるものに○をつけてください。（複数選択可）



154名中82名が、「学ぶ楽しさの伝わる入門的な講座・イベントの開催」と回答しました。

【その他のご意見】

109の上にあるのは知っているが、具体的に何をしているのか知らない。

何事も生涯勉強することは意義のあることだと思います。私も何か学習したいのですが今日まよっているというか何か分かりません。

退職後の高齢者の学ぶ意欲は、とても高いものと思います。体力、知力維持は、元気に過ごせる糧ともなると思います。シルバー人材センターで働ける為の技術、老人相手の”お話し相手” ETC…

就職支援、資格取得の為、学習支援

元気な高齢者は参加できると思うが、堅苦しいことを言っていては無理。スマホも無理と言っている人けっこういますから。

町田市生涯学習センターが有る事をまずは宣伝した方が良いと思う。

孤立している人の社交場になるような事


一般人もさまざまな問題を抱える世の中、弁護士に相談できれば解決する問題もたくさんあると思う。そういった問題を緩和するため、弁護士に無料相談できる場、または、一般人が抱える問題への対処法を本物の非営利弁護士が列挙した辞典的なものを公開する。(ネットでも調べられるが、いかがわしいサイトが多すぎて信用ならない。庶民は弁護士費用もそう簡単に出せない。資料に自治体公認という信頼と責任を持たせる)

具体的に、こんな人だったら、こんな行政サービスが受けられる、のような例をいくつか挙げて、見本例などを情報提供したらどうかと思います。

町田がこれまでどのように歩んできたのか、そして今どのような問題を抱えているのか、さらに懸念される将来の課題は何かを学び考える場の提供。町田市は、急激な人口増加により多くの市民が市外からの転入者で占められています。新たな知識や情報の提供の前に、いろいろな世代の人々に、自分たちが住んでいる町田をよく知ってもらい、そして関心及び愛着を醸成してもらえるような活動があってもよいと考えます。

安い利用料で活動場所の提供を続けること。

問6 他市の生涯学習センターや公民館の中には、民間事業者が事業の実施や施設の管理運営を行っている施設があります。事業や施設の運営を民間事業者が行うことを、どう思われますか。「市政モニターアンケート「町田市生涯学習センターについて」資料」裏面をご覧ください、当てはまるものに○をつけてください。
(1つだけ選択してください)

	回答内容	回答数	構成比
	サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい	64	41.6%
	サービスが低下しないなら市でも民間でもいい	57	37.0%
	市が直接、管理運営した方がいい	17	11.0%
	わからない	7	4.5%
	その他	8	5.2%
	無回答	1	0.6%

… 全体の41.6%の方が「サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい」と回答しました。

【その他のご意見】

どちらとも言えません。要はやる気のある人、勢いのある人がやるべきです。市民間もないのです。「人」なのです。

公的施設で行われた民間事業は、市の把握、方向性の管理責任があると思います。完全に民間任せより、行う内容の報告を義務に入れ、度々のチェックしたらいかでしょうか？

相模原市に住んでいた頃、公民館の職員と一緒に学習した ①地域の問題 ②教育の問題 若い母親の手伝いに子どもを預かったりボランティアの保母さんも10年やっていた。

「サービスの向上＝サービスの低下はなし」であるならば市でも民間でも良いと考えます。後は、利用しやすい利用料であることが前提と考えます。
民間に任せて上手に宣伝、運営してもらった方が良い。
利益を出さないと運営できない民間企業に管理させることで、いわゆる公務員を減らして税金消費を減らすと同時に、時代に沿った新たなサービスを期待。逆に、歴史的な文化財など、行政が管理するべきものは民間に任せず、しっかり自治体が管理するべき。
サービスの向上と運営費用が削減出来るのであれば、民間でも良いと思う。
民間が入ることで、営利目的や集客できる学習に偏るのは問題だが、広い世代に向けて幅広く学習する機会を色々な媒体で案内でき、講座の種類が増えたり、新しい目線で見られるなら、民間が入ることはメリットがあると思う。
民間への委託は、新たな知見の導入や効率的な運営の一手段として検討するのは必要だと思えます。ただし、全体の運営方針や個々の活動内容は、当然ですが市が責任をもって市民の目線で市民の意見を汲み取って管理する体制を築いてもらいたい。そのうえで、個々の実際の活動についていろいろなknow-howを持っている民間の助けを借りるのはよいと思えます。

問7 町田市生涯学習センターについて、ご意見やご提案があればお書きください。
(自由記述)

1.限られた人達しか使用していないように見える。2.もう少しPRが必要ではないか。3.興味ある講座やイベントが少ない。
調理室ですが快適に使用させて頂いています。欲を言えばもう少し時間に余裕が欲しいです。受付の方、後利用の都合もあると思いますが もう少し、やさしい対応を望みます。
企画担当の方の思い入れの込められたユニークな演目が好感されます。(例えば外道のコンサート等)
これからは社会からリタイアした高齢者がどんどん増えます。まだまだ能力があるのに、それを使わないのはもったいないです。大いに利用すべきです。お年寄りも今までの経験に甘んずることなく死ぬまで学び続けることが大切だと考えます。
もっと広く、案内をだしてほしい。具体的な活動の様子を記事にして！
老人ホームをお手伝いしている生徒さん達は本当に喜んでもらっているといえます。それは心の友達、生涯学習にピッタリ合っています。
町田駅近くに行くのは大変なので他の地区に作ってほしい。
誰でも参加しやすい気軽なイベントが(交流会)たくさんあるといい。横のつながり、以前参加した講座で・・・広がりがなかった。敷居が高く感じられる(イメージですが)
おもしろそうだなと思う事業は60歳以上を対象としていることが多いです。50代でも子どもが独立し参加できる方もいると思うので対象を下げてよいのでは。学んでみたいと思うこともありますが、子どもが学生のうちはなかなか難しいです。自分の稼ぎを自分の為につかえるようになったら利用してみたいです。その時の為にも民間企業、大学ともどんどん協力して内容を充実していただきたいです。

これから未来のある若者に興味のある事を行って行って欲しい。
ことぶき大学事業があると今回始めて知りました。問5と同様な回答になりますが、告知を考えて頂きたい。団地内で聞いても(充分注意してマスク等)知らない人が大半でした。内容については参加したいなという意見多し、私も同感です。
前回の「公共施設の複合化」の取り組みは、半数の方が「知らない」と答えています。生涯学習センターもあまり知られていないと感じます。もっと、多数の人が答えられるようなアンケートの方が良いのでは?と思います。
近くに大学が私の地域ですが、2校有ります。大学の先生に講演等を年1回位の割合で開催して頂きたいと思っております。
町田市で働く人材育成の為、学習支援と職業斡旋
昭和音大の音楽教室で「日本昔話」教室を行っています。小さな子供達にほっこりする昔話の世界を紹介したい。「思いやり」「自然と生活」大事なことが沢山かくれている昔話。広められればと思います。
子どものアニメ映画鑑賞会が上映されると嬉しい。大人向けの昔の映画を上映して欲しい。
問5でも書きましたが、交通機関を使用してまで現地の学習センターまで行けるかの問題になります。高齢者は話す場所が欲しいだけです。それによって何かを初めたいとか出かけてみたいとかにつながる気がします。サロンのものから高齢者の様子を把握して認知症、運動不足(ロコモティブシンドローム)などの予防が出来たら良いと思います。SNSを使用する人が増えたと言っていますが、私のまわりには一人もいません。それができる人は元気なポジティブな高齢者です。
生涯学習センターに行きたい気持ちもあるが高齢の為難しい
利用したことがないので、何とも言えませんが、現状どれくらいの方、年齢層がどんな利用のし方をしているかについて集計し、検討、改善されているのでしょうか。その部分が不明なのでアンケートの回答が通り一ぺんになってしまいました。
様々なテーマの講座や講演会とありますが、いつ、どこで開催されるかというのは何によって知ることができますか。我が家では新聞をやめたので、まちだ広報が配布されず、情報を何で得ることができるのかわかりません。
金井6丁目の自治会の役員をしていたとき、職員と一緒に環境を考えたり、ゴミ処理場見学の折、皆さんと一緒に考えたり楽しかった。相模原市の自治会役員をしていたとき、宇宙科学センターを見学したり、施設めぐりのバスを借りて市内の施設を見学して特に男性の役員さんらに喜ばれました。アメリカ大陸を横断した折はナサ宇宙科学センターを見学したりよかった。アメリカは広いことにびっくり、人間はこの国の人もいい人たちでした。若いときは冒険することも大事。チャンスがあれば又行きたい。町田市に40年も住んでいるのに海外ばかり行き、やっと地域に目を向けることもできました。パソコン教室で10年、カレンダーや地域のことにも関心あり
玉川学園大学、桜美林大学との差別化を図って、町田市指定の講座や終了時に町田市への就職等の貢献度を担ったりしたほうがよい。
特にない
個人的なことなのですが、現在主人の介護が生活の中心になってしまい自分のことはできずにおりますので解答ができませんでした。申し訳ございません。

町田市民としては大いに期待しています。
各地域で発生している難題、事案を集約し市民全体の案件として相談出来る座談会的講座の開催を作り、又高齢者から若年者が合同で行えるコミュニティー(町田ならではの)を作る計画、このような点を広く集める役の方を育成支援の場
「町田市生涯学習センター」という名称は、聞いたことがあるが利用したことはありません。朝から晩まで仕事をしていると利用する機会もなければ詳細も知りませんでした。今回初めて市政モニターを希望したことはヨカッタと思います。新型コロナウイルス感染症の流行により「zoom」で会議等を行っているように「zoom」等を利用して内容を発表し、発信してみても良いかと思えます。
講座を受けたいと思っていたが、施設が交通に不便なため あきらめた事がある。交通の便なども記入してくれると助かります。
生涯学習センターを知っている人が少なすぎる。もっと市民の方が知る方法を考えた方が良くと思う。
生涯学習センターについては学習すること及び何か制作、もの作りなどの分野も必要ではないかと思えます。問5の「8、成果を地域に還元する仕組み作り」など町田市の運営で学び、作った物などの販売など高齢者、定年退職後の技術者の生きがいにつながると思います。現在インターネット社会ではありますが、スマホ、PCが使えない方も多く、独居の方も多いので気軽に集まれる広場的な場所もあると良いですね。(学習の場として)
町田駅から好立地とあるが常盤町在住の子育て世代には町田駅まで行くのは大変で利用しようと思わない。(2歳・5歳子育て中)バス、電車ではなく車で行ける所だといいなと思う。規模は小さくていいから分室のようなものが複数あると利用しやすい。HPを見たが「2018年度開催」と記載している情報写真が多く、情報が古いと感じた。情報の更新をもっと頻繁にした方がいいと思う。オンラインを活用して家でイベントや学習に参加できるようになったら嬉しい!!ので、子ども向けイベントをオンラインでして欲しい。歌や本の読み聞かせ、手遊び等。
成功している地域で運営方法を学び町田市全域で平等に使用できる様になると認知度が上がると思います。
何故財政が厳しいのか。わかりやすくお金の流れを説明してほしい。
今までどのような講座を開講しているか知りませんでした。今後は興味のある講座があれば、スケジュール次第で参加したいと思います。
何をしているのかわからないというのが率直な感想です。HPのイベント情報を見ても、一目見てパッと分かるような記載でもないので、もう少し分かりやすい方がいいと感じました。
生涯学習において一番重要なことは、本人のやる気(本人が好きなことや趣味)を活かすこと。上から無理やりやらせる押しつけ学習は絶対やってはだめ。
いままで利用したことがないのですが、ネーミングから言って生涯学習センターといえますので、高齢化社会に向かい80才、90才になっても学べる場所があるのはよいと思う。今後、利用したいです。
無くてもいい

誰のために何をやっていて、どこにあるのかが広く知れていないように感じます。広告にも費用がかかるので、バランスが難しいですが、利用の拡大を目指すのであれば、より積極的に露出を増やすのが必要に思います。

名称だけで何が出来る施設か想像がつかない。考えた上でパッと感じるのは、高齢者向けのカルチャーセンターに聞こえる。思いきって全く違う名前にし、その施設の説明をしっかりと、市民に浸透させた方が、全世代が利用する気になると思う。(命名は、ばあん・まあち みたいな、「あ、自治体の特殊な施設なのですね。働いて忙しい私には関係ないかな」という雰囲気を持たせない)

施設使用料金の低料金維持。利用者の偏り、公平に。

語学などプラスアルファで学習できるイベントなどがあればいいと思います。今は小学生から英語を学習する時代です。それに加え、学校では勉強できない多言語を幼い頃から学習できることによってもっと視野を広げられるのではないかと思います。

特にありません。

どういう活動をしているのか、どういう施設なのか、何となくは知っていても詳しくは知らない人が多いと思うので、まずは周知させて利用促進をはかることが優先ではないかと思います。

あらゆる世代に使いやすいものがあるとよいです。

いつも通ると気になってはありましたが、実際にどんなことが行なわれているのか、どんな方々が利用されているのかわからず、実際に利用したことがありませんでした。その辺りの情報を広い形で開示されてると、実際に利用してみようと思われる方も多いのではないのでしょうか。

お年寄りばかりが利用していると感じる。小学生などの習い事や親子体験教室のように全世帯に普及しなければ、高齢者施設化してしまい、のちに現在の利用者が亡くなった後は廃れて閉鎖されるだろう。

老若男女、それぞれの興味に合わせて選べる講座が複数あるといいと思う。

少し調べてみましたが、市としての体制としてはよくやっているのではないかと思います。ただ民間はもっともっと自由闊達かもしれません。ここは検証してみないとわからないのであくまでも評論家的な傍観的な言い回しですみません。

いろいろなジャンルの学習ができるようにしてほしい。

視聴覚用に大型テレビを設置したら如何でしょうか？なお、6年前から要望として文書でお願いしていたが未だ導入されていない。理由：1. 現在、スクリーンはあるが、プロジェクターは古く写りが悪い。2. 今やテレビは大型化し写りも良く、価格も下がっている。

何をやっているところか、小学校や幼稚園等に年1回でもプリントを配ってくれたら少し目を通すかも。紙は無駄かもしれないが、紙なら必ず見る。

「町田市生涯学習センター」という名称が古めかしく、堅いイメージがあるので小・中・高生からアイデアを募り、新名称にした方が良い。

参加したことがないので意見や提案を述べることは難しいが、今回のアンケートで市民大学HATSの活動には興味を持った。地域活動に貢献することは、誰にでもやりがいを感じると思える。

自宅が学習センターの近くでないので、実際に通えない人にも郵送などで学習の機会を作るシステムがあっても良いのではないかと思います。

最初のきっかけがつかめないので何かを始める事が出来ないのが現状です。いずれは自分の趣味に合った何かを始めるつもりです。

生涯学習センターの認知度は非常に低いように感じます。いろいろな世代対象に多くの講座やイベントを展開されているようですが、小生の不勉強もあると思いますが、アピール不足を感じます。また、他の自治体でも同様な名称としているようですが、「生涯学習センター」と聞くと、勝手な思い込みかもしれませんが、「一線を退いたり、時間が空いる人たちが趣味的なことを学ぶ場」というイメージを持ってしまいます。もちろん、学習を通じて余暇を充実させることも必要ですが、もっと積極的に市民生活を豊かにする場として、そのようなイメージの名称としてアピールしたほうが良いように感じます。

高齢者のたまり場と化していることを是正しないと、今後の発展は望めないと考えます。もちろん、高齢者を対象とするサービスも残しつつ、既存のものを峻別した上で、より幅広い世代に訴求するサービスを検討しなくては良い取り組みも先細るだけかと思えます。

告知が足りないように思う

使いやすい市民活動の場所として現状を維持してほしいです。

主に使用するならば施設貸し出しだと思いますが、町田は横に長く、小山からは遠いのでなかなか利用はできません。

地域活性化を主眼として、リーダーの講演を期待したい。また、そこから人とのネットワークへ発展させて、より多くの活動へと結びつけるのがよろしいかと。

施設が全般的に暗い感じがする。壁などの色を変えて明るくしたほうが良いと思います。駅に近い市の施設なので老若男女使用してもらいたいです。

便利な場所にあるようだが、どんなことをやっているのか、どんな講座があるのかわからない。参加してみたいものを見つけても、満員だったり。生涯学習センターの企画だったか忘れてしまったが、広報に載った何かの講座に参加したが、お年寄りばかりでちょっと居づらい雰囲気だった。若い人も学べる環境が欲しい。

知らない人が多いと思うので、アピール方法があればよいと思います。

図書館でもらったチラシから、参加したいイベントが生涯学習センターで行われており、その存在を知ることができましたが、会社員として忙しくしていた時にはその存在すら知らずにいました。もっと（広く市民に？）知られてもいいと思います！

人生のすべては、自分自身の失敗・過去の人々の失敗から学び、改善していくことだと思う。多くの人が、学ぶ楽しさに触れることができるように、様々な角度から活動してほしい。学ぶことにどんなメリットがあるのか、学ぶという行為が、どのように人生で繰り返されるかなど。

職業訓練的な資格取得を目指す講座が必要（CAD、マンション管理士、電検、介護士、食品衛生管理者などなど）職が増えるような活動しませんか？

NHK講座のような内容の充実があれば、利用する人も増えると思います。またイベントカレンダーの講座名もどのようなことをするのか内容がすぐに分かりにくいので、表示の仕方をもっと少し改善する必要があるように感じました。（詳細を別のチラシで調べさせるのは不親切）

生涯学習センターについて、今回のアンケートで初めて知りました。今後、興味のある内容があったらぜひ利用したい。また、もっと早く知りたかった。

ワーキングプアなど収入格差が広がり、さらに働きたくても職に就くことが出来ない人が特に団塊ジュニア世代に増えていると聞きます。そのような人達が定職に就けるように生涯学習センターが利用できると良いと思います。例えば、今後団塊世代が次々と現役を引退し、外出する機会が減ってしまうと、やがて老化が進み支援が必要になる人が増えてしまうことが懸念されます。そこで、就業機会を欲する人に、現役を引退された方々から技術指導をってもらうような地域支援事業に参加してもらうような機会創出ができるの良いのでは、と思います。